



異国の温情



国籍	中国
職種	プラスチック成形
実習実施者	テイ・エステック
	株式会社
監理団体	ELC 事業協同組合

陆 思 彤
LU SITONG

私は一年半前に技能実習生として日本へ来ました。日本の習慣や文化、ゴミの分類や交通ルールなどを勉強し、一か月後入社しました。会社からピンク色の自転車をもらい、通勤生活が始まりました。

入社してから半年が立ったある日のことでした。その日は朝からずっと小雨が降り、夕方になると雨が激しくなり、風が吹いてきましたが私は夜勤なのでいつものように自転車で会社へ向かっている時に強風と激しい雨に打たれ、自転車を動かすのに大変になり、遅刻しそうで焦っていました。その時、右側にある近道に行こうと思い慌てて道路を渡った所、急に光が眩しく目の前にきてキィーと大きな音を立てて、私の前に車が止まりました。危機一髪ところで自転車の前輪が車の左側の前輪とぶつかりそうになり、私の心臓が止まりそうでした。

すぐに50代ぐらいの小柄な優しい女性が「危ない、急に曲がると危ないよー」と大きい声で叱りながら車から降りてきました。私は驚いていたので、ぽっかーんと足が立ちすくんで言葉がでませんでした。それを感じた女性が直ちに私の足を見ながら「大丈夫ですか、怪我は

ありますか？」と女性が聞かれ、「いいえ、大丈夫です。」と私が小さい声で返事しました。女性が私は外国人であることに気がついたようで「病院へ行きましょう」とゆっくり話をするようしてくれました。病院でしばらく待つとお医者様から異常がないとの結果が出ました。交通事故に至らなかったものの私は生まれて初めて交通事故の危険さを実感しました。

病院から帰る道中にいろいろな話を交わし、女性は近くに住む主婦である鈴木さんということが分かりました。宿舎まで送ってくれて、温かいお茶を買ってくれました。冷たい雨が続けて降っていましたがお茶を飲んで胸に熱いものがこみあげてくるような気がしました。

一か月後の日曜日の朝、私は玄関のブザーの音で目がさめました。玄関のドアを開けたら、そこには鈴木さんの姿がありました。鈴木さんが手作りのパンを持って「これ、良かったら食べて」とふんわりして中にあんこが入っていて、美味しいパンでした。また桜柄の小銭入れをくれました。開いたら5円が出てきました。「5円はどんな意味のか知っていますか？」と鈴木さんから聞かれ、どんな意味か考えても答えが出てきませんでしたが鈴木さんが「5円はご縁です。発音が一緒だから、陸さんにご縁が有ったから出会ったでしょう！」「なるほど、大切に使います、ありがとうございます。」と鈴木さんにお礼を言って喜んでいただきました。

日本文化を体験し、優しい日本人と出会い、本当に良かったです。これからの一年間ですが日本の交通ルールを守り、充実した技能実習生活を送っていきたいと思います。毎日ピンクの自転車に乗り、仕事へ楽しく安全に走っていきます。